

計画の名称	1 甲州市の水環境を守る下水道整備計画		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度（4年間）	交付対象	甲州市
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を50.7%（H22）から55.0%（H25）に増加させる。 ②重要な管渠の地震対策実施率を12.7%（H22）から13.3%（H25）に増加させる。		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	50.7%	53.0%	55.0%	
②重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長（km）／重要な管渠の延長（km）	12.7%	13.3%	13.3%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	695.00百万円	A	560.00百万円	B	0百万円	C	135.00百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.4%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	------	---	-----------	---------------------------	-------

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
甲州市社会資本総合整備計画評価委員会	平成27年2月
	公表の方法
	甲州市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25		
A1-1-1	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩2処理分区（普及促進）	L=1,000m	甲州市					70	
A1-1-2	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩5処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					50	
A1-1-3	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩6処理分区（普及促進）	L=500m	甲州市					30	
A1-1-4	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩7処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					30	
A1-1-5	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩8処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					56	
A1-1-6	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩9処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					50	
A1-1-7	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩10処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					50	
A1-1-8	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	改築	塩6処理分区（地震対策）	L=90m マンホールと管渠の接合部の可とう化	甲州市					12	総合地震
A1-1-9	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝1処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					50	
A1-1-10	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝2処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					50	
A1-1-11	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝3処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					51	
A1-1-12	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝5処理分区（普及促進）	L=700m	甲州市					40	
A1-1-13	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	改築	勝3処理分区（地震対策）	L=60m マンホールと管渠の接合部の可とう化	甲州市					1	総合地震
A1-1-14	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	改築	大和处理分区（長寿命化）	長寿命化計画の策定業務 浄化センター、マンホールポンプ35基	甲州市					10	長寿命化
A1-1-15	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水		塩山処理分区、勝沼処理分区、大和处理分区（施設計画策定業務）	効率的な事業実施のための計画策定	甲州市					10	施設計画
											小計（下水道事業）				560.0	
											合計				560.0	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25			
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25			
A1-1-1	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩2処理分区枝線整備	L=210m	甲州市						15	
A1-1-2	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩5処理分区枝線整備	L=210m	甲州市						15	
A1-1-3	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩6処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-4	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩7処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-5	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩8処理分区枝線整備	L=210m	甲州市						15	
A1-1-6	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩9処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-7	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	塩10処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-8	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝1処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-9	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝2処理分区枝線整備	L=210m	甲州市						15	
A1-1-10	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝3処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						10	
A1-1-11	下水道	一般	甲州市	直接	—	汚水	新設	勝5処理分区枝線整備	L=140m	甲州市						15	
合計														135.0			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道処理人口普及率は、50.7%から54.8%となり、467人が下水道を利用できるようになった。							
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道処理人口の普及率）	最終目標値	55.0%	目標値と実績値に差が出た要因	市街地の枝線整備、およびその周辺地域の基幹を整備したことにより、概ね目標の普及率を達成することができた。平成21年度末総人口35,766人、整備済み人口18,147人、平成25年度末総人口33,981人、整備済み人口18,614人				
		最終実績値	54.8%						
	指標②（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	13.3%	目標値と実績値に差が出た要因		限られた交付金の中で、開発地や個人住宅の未普及対策を優先したために、地震対策としての耐震化延長を伸ばすことができなかったが、今後は長寿命化計画と整合を図ったうえで、地震対策を行っていく。			
		最終実績値	12.7%						
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因					
		最終実績値							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		地震対策として、1ヶ所の避難所にマンホールトイレ（5基）を設置したことにより、災害時に断水等でも使用可能なトイレを確保することができた。							

3. 特記事項（今後の方針等）

今後は、生活排水処理全体を効率的・経済的に捉え、公共下水道事業および市町村設置型浄化槽事業による整備を図っていくことにより、公共水域の水質悪化を抑制し、住みやすい生活環境を整えられるよう事業を進めていく。
また将来的には、施設を計画的かつ効率的に管理するためにストックマネジメントを導入し、新規整備・維持管理・改築を一体的に捉えて事業の平準化とライフサイクルコストの最小化を図っていく。